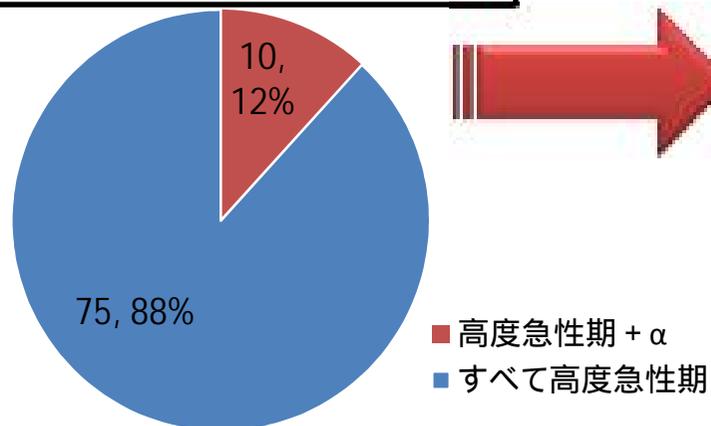


特定機能病院における病床機能別の病床数等の比較

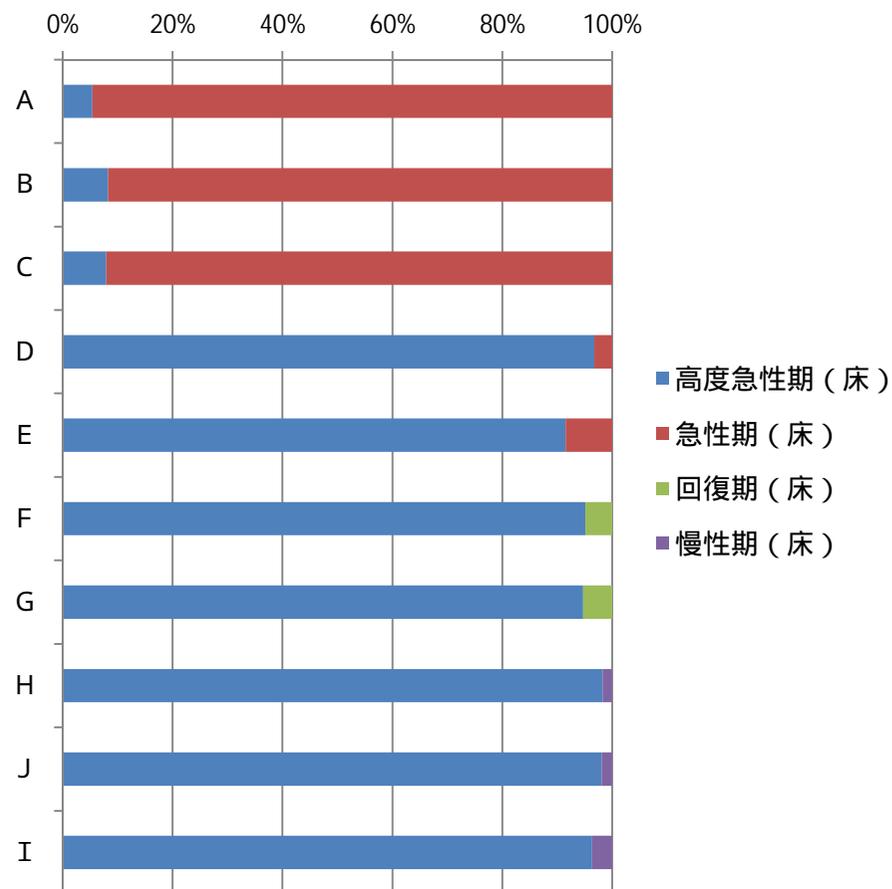
特定機能病院等の病床数等の構成比を表したもの。

特定機能病院(85病院())では、報告時点の85病院中75病院が、全ての病棟を高度急性期機能と報告。北海道大学病院については、報告内容に不備があったため今回の集計からは除外
病床数で見ると、全病床数の約96%が高度急性期機能の病床と報告。

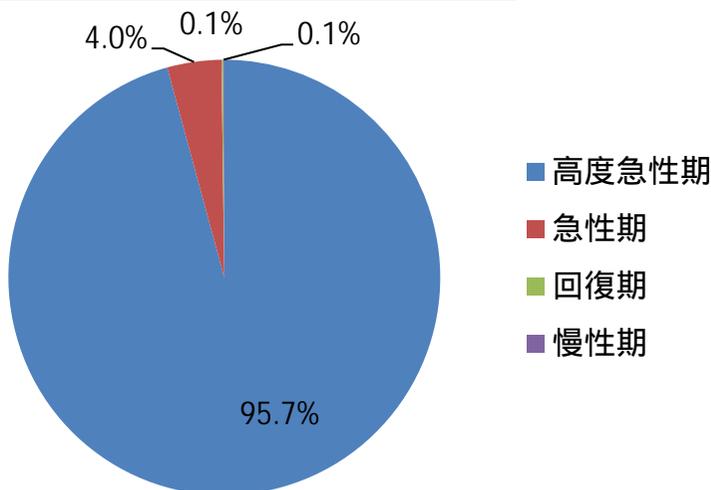
各特定機能病院の報告状況(病院別)



高度急性期以外の病床を有する医療機関の病床数の内訳



各特定機能病院の報告状況(病床別)



400床以上の病院における病床機能報告制度の状況

特定機能病院と、病床数が400床以上の病院のそれぞれの4機能別の病床数を比較。
特定機能病院では、病床数で見ると、約96%が高度急性期機能と報告。
一方、特定機能病院以外の400床以上の病院においては、
高度急性期 41%、急性期 45%、回復期 2%、慢性期 11%であった。

